

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

■工事の動機

結婚を控えた息子夫婦の、「この家に一緒に住みたい」の一言から、移築後120年が経過した古民家の2世帯住宅へのリフォームを決意。改装・改築を繰り返していたが、大事な梁や柱には傷をつけないための心遣いが、あちこちに見られた。

先祖から大切に受け継がれてきた家を、さらに子へ、孫へと受け継いでいきたいとのこと要望であった。

■プラン決定のポイントと工夫

先祖の想いが詰まった既存の木材は、痛みや劣化を検証しつつ建具や板壁などにできる限り使用した。自然を眺められる場所が数少ない大きな古民家だが、人をもてなす玄関と家族が集まるダイニングキッチンでは、自然の彩りを少しでも感じてもらえるようにと植物を象った切抜き板をはめ込むことで自然美を取り入れると共に、時間帯や照明の具合でそれらを通した陰影の変化を感じられるようにした。

性能向上の特性
耐久性・温熱性能

特に配慮した住宅性能
採光と風通し、自然素材の積極的利用

データ

所在地	岐阜県飛騨市	築後年数	120年	施工期間	96 日間
該当工事面積	m ² / 総工事床面積	319.81 m ²	該当部分工事費	万円 / 総工事費	3,450 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 2 人 / 15歳未満:		人 / ベット:		
設計会社	レオイ(株)	担当者	田口 ひとみ		
施工会社	同上	担当者	中島 朋博		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部